

9月21日は世界アルツハイマーデー

世界アルツハイマーデー(9月21日)とは、(世界108の国と地域が加盟している)国際アルツハイマー病協会が、認知症の理解をすすめ、本人や家族への施策の充実を目的に1994年に制定しました。

○ 認知症になったら「何もわからない・何もできない・異常な行動をする」という考え方は、もう古い？

かつて、認知症になった方は「何もわからなくなり、異常な行動をする人」と思われており、認知症をもつ方の尊厳を無視し、見下した考えを持つ社会環境がありました。このような間違った考え方を変えるため、1980年代末に英国の臨床心理学者のトム・キットウッド氏によって「パーソン・センタード・ケア=1人の“人”として尊重してケアをしていく」という考え方が提唱され、現在、日本においても「パーソン・センタード・ケア」の考え方が広まっています。

~~何もわからなくなる・異常な行動をする~~

脳障害とその他の要因でうまく自己表現できず、困っている

○ 認知症の方の言動には理由がある！

例えば、自分で財布を隠したが、よく世話をしてくれるお嫁さんを犯人扱いする。(※身近な人が疑われやすい)

財布がない → 探しても見つからない → 自分が隠した覚えがない → 不安になる → 嫁が財布を盗んだ

この場合、「不安になる」ということが、原因になっていると思われます。しかし、不安を感じている理由は、財布を無くしたことだけとは限りません。いろいろな不安が積み重なっているかもしれません。

もっと認知症の方を知ろうとすることで、様々な理由と関わり方が見えてくるはずですよ。

認知症の方への関わり方は、十人十色で様々です。ご相談があれば、福祉課(地域包括支援センター)まで。

ケアマネージャー(介護支援専門員)ってご存じですか？

介護サービスを利用する際に、大切な役割を持っている“ケアマネージャー”という介護の専門職があります。

例えば、介護サービスを利用する際は、“ケアプラン=介護サービス提供の計画”が必要ですが、それを作成することも“ケアマネージャー”の業務の一つです。

ケアマネージャー業務

- サービス利用の相談・アドバイス
- 要介護認定などの手続き代行
- ケアプランの作成・見直し
- 介護サービス提供事業所との連絡調整

など

しかし、久米島町では、高齢者化が進み、介護を必要としている方の増加や専門職の不足などのため、十分な介護サービスを利用することが難しくなっております。そのため、地域住民の助け合い活動が大切になってきております。



ケアマネ会議の様子

ケアマネ会議では、ケアマネさんが集まって、町の介護に関する課題の検討や介護サービスの連絡・調整を行ったりします。

連絡先

福祉課(地域包括支援センター)

TEL: 985-7124 担当: 安里・平良